



古石

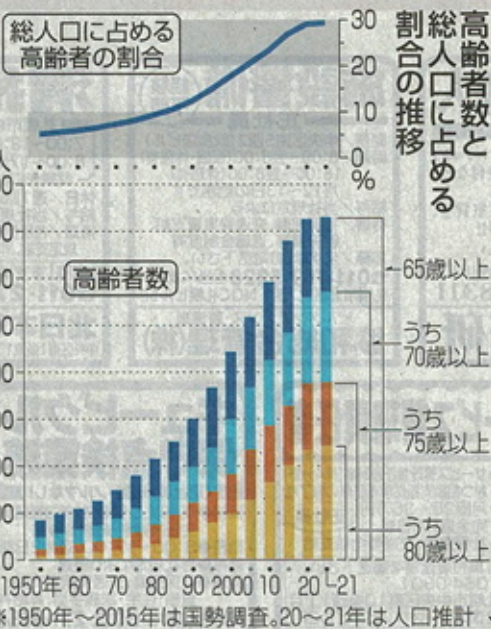
札幌集中のリアル

敬老の日を前に総務省が19日発表した人口推計(15日時点)によると、65歳以上の高齢者は前年より22万人増の3640万人、総人口に占める割合は0.3増の29.1%と推計された。

高齢者のうち、男性は1583万人、女性は2057万人。年齢層別では、「団塊の世代」(1947~49年生まれ)を含む70歳以上が61万人増の2852万人、75歳以上が9万人増の1880万人、80歳以上が46万人増の1206万人だった。

総人口に占める高齢者の割合を国連のデータと比較すると、2位のイタリア(23.6%)、3位のポルトガルの割合は今後も上昇を続けている。

国立社会保障・人口問題研究所の推計では、高齢者の割合は今後も上昇を続ける見込み。一方、労働力調査による見通しで、第2次ベビーブーム(71~74年)に生まれた世代が65歳以上となる2040年には35.3%になる見込み。



高齢者過去最多 3640万人

総務省推計 総人口の29.1%

人口推計 5年に1度の国勢調査を基に、出生数や死亡数、出入国者数などから人口を算出する。毎月1日時点は全国の人口、毎年10月1日時点は都道府県別人口を含む詳細なデータをまとめる。ほかに「こどもの日」「敬老の日」などに合わせ、子どもや高齢者の数を特別に集計している。

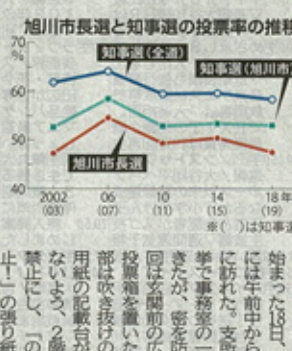
道内21地点夏日 新ひだか、豊浦21度 道内は19日、広く高気圧に覆われた影響で気温が上がり、日高管内新ひだか町静内と胆振管内豊浦町大岸で最高気温26.1度を記録するなど、21地点で気温25度以上の夏日となった。道内で夏日が観測されるのは2日連続。

札幌管区気象台によると、19日の各地の最高気温は、函館市で26.0度、空知管内月形町で25.9度、

低投票率 返上できる?



旭川市長選と知事選の投票率の推移



旭川市長選と知事選の投票率の推移 旭川市長選と知事選の投票率の推移。旭川市長選の投票率は、2002年の58.1%から2018年の50.1%まで低下している。知事選の投票率は、2002年の62.1%から2018年の55.1%まで低下している。

旭川市長選と知事選の投票率の推移。旭川市長選の投票率は、2002年の58.1%から2018年の50.1%まで低下している。知事選の投票率は、2002年の62.1%から2018年の55.1%まで低下している。

旭川初トリプル選

旭川市長選と知事選の投票率の推移。旭川市長選の投票率は、2002年の58.1%から2018年の50.1%まで低下している。知事選の投票率は、2002年の62.1%から2018年の55.1%まで低下している。

旭川市長選と知事選の投票率の推移。旭川市長選の投票率は、2002年の58.1%から2018年の50.1%まで低下している。知事選の投票率は、2002年の62.1%から2018年の55.1%まで低下している。

大学でも期日前密も回避

野千恵子学長は「投票者のプライバシーの保護や感染対策を徹底し、期日前投票率を向上させる」と述べ、期日前投票率の向上を訴えている。

野千恵子学長は「投票者のプライバシーの保護や感染対策を徹底し、期日前投票率を向上させる」と述べ、期日前投票率の向上を訴えている。

札幌集中のリアル

集落の再編 戦略的に

金沢大・林直樹教授に聞く。集落の再編は、人口減少と高齢化が進む中、持続可能な地域づくりのために必要不可欠な戦略である。

金沢大・林直樹教授に聞く。集落の再編は、人口減少と高齢化が進む中、持続可能な地域づくりのために必要不可欠な戦略である。

金沢大・林直樹教授に聞く。集落の再編は、人口減少と高齢化が進む中、持続可能な地域づくりのために必要不可欠な戦略である。

金沢大・林直樹教授に聞く。集落の再編は、人口減少と高齢化が進む中、持続可能な地域づくりのために必要不可欠な戦略である。

金沢大・林直樹教授に聞く。集落の再編は、人口減少と高齢化が進む中、持続可能な地域づくりのために必要不可欠な戦略である。